



ハカルワカル広場だより

八王子市民放射能測定室 第45号 2024.7.20 発行

発行元 八王子市民放射能測定室 ハカルワカル広場

〒192-0053 八王子市八幡町 5-11 八中ビル2F

HP <https://hachisoku.org> ① hachisoku@gmail.com ☎ 042-686-0820

ゆうちょ銀行振替口座:00180-8-290904 八王子市民放射能測定室

他行からは ゆうちょ銀行:018-0224460 八王子市民放射能測定室



3月映画会報告

『サイレント フォールアウト 乳歯が語る大陸汚染』から考える

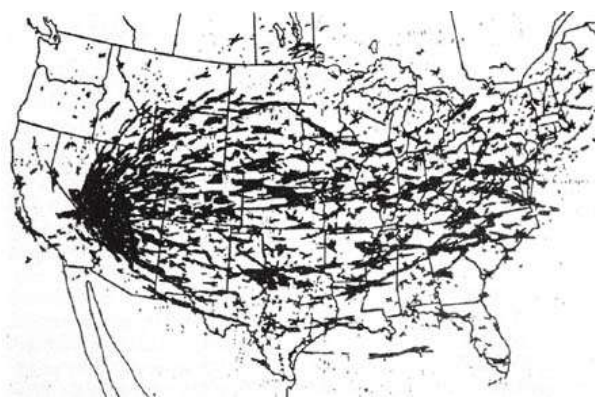
イベント担当 鈴木 映子

2012年の測定室開設以来、ハカルワカル広場では「核と原発のない世界」をめざして活動してきました。放射能測定が中心ですが、お茶会と称した学習会や、活動の様子や測定結果を残し広めるための会報、ホームページの作成、そして野外測定会や原発の現地視察、映画会などのイベントを通して、核が生命と共存できないことを訴えてきました。

映画会は事務局会議で候補をあげ、上映中の映画館に出向いたり、製作者に会いに行ったりしたこともありましたが、今回の『サイレントフォールアウト』は、2014年に上映し好評だった『放射線を浴びたX年後』の伊東英朗監督製作の映画で、監督からのメッセージがきっかけでした。

映画は、今なお潜む「サイレントフォールアウト、見えない放射性降下物」による、これまで触れられることも少なく、アメリカの人たちもほとんど知らない放射能汚染の実態を、被ばくと向き合う30人の証言や当時の文書からあぶりだしています。そして、核実験によりアメリカ大陸が汚染させられたことに気づいた女性たちが、子どもたちの被曝を証明しようと乳歯を集め、大統領をも動かしたのです。

監督は「この映画をアメリカで上映することで、核兵器開発の過程で国民に知らされないままアメリカ大陸が放射能で汚染されていたことをアメリカの人たちに知らせ、改めて核兵器や放射能の問題について考



えてほしいと願っています。(略)そのことは、日本にも少なからず影響を与えるはずですから。」(パンフレットより抜粋)と訴えています。

事務局会議ではこの映画上映についてはすぐに決まったのですが、映画事務局から来ていた賛同金用の封筒を配ることについては悩みました。会費を支払ってもらい、チケットを買ってもらい、その上に賛同金をお願いするのはあまりに申し訳ないという意見。そのとおりです。しかし、監督はじめ映画関係者は、アメリカで上映するためにクラウドファンディングで資金を募り、少しでも多くの人たちに広めたいと考えていることにも共感できました。それは、核の恐怖を伝え広めたいというハカルワカル広場の活動にも通じるものです。それで今回はチケット代金のほとんどを支援金とすることを参加者にしっかり説明した上で、賛同金用の封筒を配ることにしました。結果として71,000円が集まり、チケット代から必要経費を引いた135,000円と合わせて、206,000円を支援金として送ることができました。皆さまの気持ちを監督、スタッフもしっかり受けとめてくれたことと思います。また、皆さまの気持ちはハカルワカル広場へのご支援とも受け取れ、心から感謝申し上げたい思いでした。

例年映画会では、上映後に意見交換会などの企画を組み、その意味を深める活動をしてきました。今回も3人の方にステージに上がってもらい、トークセッションを企画しました。話し合いのテーマは「核廃絶に向かってできることを探る」。登壇者からは「知らなければいけないことを身にしみて感じ、背中を押された



気分だ。自分にできるアクションを起こすことこそが大切」「自分は乳歯調査の子どもたちに近い年齢で、そこに生まれていたらと思うと他人ごとではない。意識するだけでも見え方が違ってくる」「女性の活躍がすごく大切。男性も時間を作り政治問題を考えないといけない。行動できなければお金だけでも」などの意見が出されました。正解のない大きなテーマですが、登壇者の貴重なご意見で、知ること考えることの大切さだけでなく行動しなければ何も変わらないことを感じさせてくれるトークセッションでした。

今回の上映会は、スタッフの健康上の問題もありハラハラドキドキの開催でしたが、それぞれが誠実に持ち場と向き合っていることを感じる事ができて、充実した開催だったと自負しています。そう感じられるのも、支え続けてくださる皆さまのおかげと、改めて思った映画会でした。



映画会 感想、アンケート(抜粋)

- * 初めからとても衝撃を受けました。画面に監督の話があったのも良かったです。放射能汚染と環境が密接に結びついていることも常に考えなくてはならないと思いました。「乳歯」に注目したのは素晴らしい。日本では国民の半数が癌になると言われていますが、放射能汚染、農薬・・・の影響が大きいと思います。小さな行動がなんとか一歩を進めることに繋がれ！と思います。
- * とても感動しました。女性たちの行動がケネディをも動かしたこと。核開発の恐ろしさ。数々の核実験によってアメリカ大陸、全世界が放射能汚染されていること。いろいろ考えさせられました。
- * 緊急に必要なことは脱原発への政治行動。市一都一国と反原発を主張する議員を一人ずつでも輩出できるように考えていくことを具体的に模索してほしい。
- * 加害者とばかり思っていた米国人も大勢の方が被ばく者になっていることを知って大変驚きました。有意義な映画を見せていただきました。
- * 恐ろしい映画でした。核実験による被ばくがこれほど恐ろしいものだとは知りませんでした。もっとも世界中の人が知らなければなりませんね。行動を起こした母親達、素晴らしいですね。
- * この映画はもっと広く一般の人々に見て頂きたいですね。一般的な映画館やマスメディアでの大々的な報道が必要です。
- * 核による人権侵害はヒロシマ・ナガサキその後続く核実験、スリーマイル、チェルノブイリ、福島での原発事故と脈々と続いており、現在進行形の問題であることを思い知らされた。市民が連帯して問題に立ち向かうためには、「まず知ることから」始めなければならないと思う。
- * 原水爆実験についてはぼんやりとしか知らなかったことがこの映画でとても良くわかり、恐ろしさも理解できました。人に伝えていきたいです。
- * 今日のような映画を小・中・高校生向けに上映できないものでしょうか。若い人、子どもたちが知るべきことも多く、深い必要性があると思う。
- * この映画を観て、ヒロシマや長崎の原爆がアメリカの実験の一つにすぎないということを実感しました。人間がコントロールできないものを作る意味がわからないと思いました。
- * この映画で3部作すべて観ました。「サイレントフォールアウト」はアメリカだけではなく全世界で上映してほしいです。
- * 知らないことが多いなーとつくづく思いました。誰が考えても大変なことで、すぐにもなくさないといけないと思うのにどうして核廃絶が出来ないのか。しっかり考えていかないと、と思った。
- * アメリカ人が知らなかったとは衝撃でした。女性の意識が変われば世界は変わると信じています。放射能汚染水を海にもどすことは問題だ。
- * どの国の権力者も本当のことを国民に知らせない。それでもアメリカはいろんな記録が保存されているので、それを知る手がかりがある。今の日本にはそれが望めない。
- * 真実を知りたい。正しい選択をしたい。子どもたちを守りたい。の共通の思いで非核日本キャンペーンスタート。がんばるぞー！不都合な真実を勇気をもって知ること、知らせることが私達の役割。核なき世界へと闘っている人がいることを知れて良かった。運動に確信をさらに持てました。
- * 原発と核兵器はなくしたい。私が生きているうちにと思いました。原子力産業はしびといですが、「市民の手で引導を渡す」ためには市民が自治するエネルギーが大事では。自然エネルギーに希望を持っています。
- * 実験によってアメリカ全土が被ばく汚染されている、という皮肉。アメリカの人々には是非観てほしい。もちろん全世界の人々にも観て、考えてほしいと思いました。どの政府も不都合なことは隠す、認めない。情けないと思います。
- * 核実験禁止条約の背景に市民、特に女性を中心とした闘いがあったこと、核実験による大陸の放射能汚染の実態を知ることができて、勇気をもたらした。今後の個人的な活動にも活かしていきたいと思います。

- * 目に見えない、においもしない放射能のこわさをあらためて感じ、心が重くなりました。日本では原発は再稼働するし、本当に政府は何を考えているのか！ 国民(一般人)は消耗品なのですね。
- * 観たいと思っていた映画、ようやく観ることができました。ありがとうございます。綿密な取材、インタビューで大変説得力のある映画。福島の問題、現状とオーバーラップしました。私達が大なり小なり放射線被曝からのがれられない、しかも愚かにも人為的にそれを引き起こしている現状がひしひしと迫ってきました。環境問題としての放射線汚染の視点を広げていけたらと思います。
- * 字幕が小さかったので目を細めて読み、少し疲れました。もう少し大きい字ならばさらに良かったと思っています。
- * もっと広く多くの人達に伝えてほしい。メディアにもとりあげてほしい。子どもたちの未来に繋がれたら良い。
- * まだインターネットやSNSが無かった時代、あの子どものイラストを周知させ、乳歯を集めた母親たちの熱はすごいなど。
- * アメリカ西部での核実験が全米に放射能物質を拡散し、且太平洋上での実験も地球上に広範囲に広がっていたことを初めて知った。実験から60年以上を過ぎても核被害に遭う人々がいることも知り、原発も含めた核被害は何十年も何百年も続き得ることをあらためて実感させられた。夫を亡くした女性と言う「核兵器も原発もすべての国々、すべての人々でなくさなくてはいけない」という言葉に共感する。広範囲に多くの人々に取材した監督の努力に敬意を表したい。政府関係者や若い世代に見てほしい。ケネディ大統領のようなリーダーが今世界に見受けられないのが世界の不幸とも見える。権力の行使次第で社会は大きく変わり得る。アメリカやイギリスだからこうした調査を可能にしたのだろうが、ロシア(旧ソ連)や中国、北朝鮮などでの実験の影響は調査できないだろう。

『サイレント・フォールアウト』アメリカでの上映ツアーはじまる！

映画会報告にありました、この映画をアメリカで上映するためのクラウドファンディングは4月末に終了し、1000万円を超える寄付が集まりました。そしていよいよ、伊東英朗監督は、40日間の北米大陸上映ツアーを始めるそうです。支援者に向けた監督のメッセージの一部をここに紹介します。(編集部)

【伊東監督メッセージ】

- * ヒロシマ・ナガサキへの原爆投下から80年を迎える2025年の前に、「核兵器開発によって米大陸全域が放射能汚染した事実」を日本人として伝え、核兵器の真の意味を問うため、アメリカでの上映ツアーを実施することにしました。
- * 第1回目となるツアーは、核兵器にまつわる重要な日程に合わせスケジュールを組みました。日本人として、その日をアメリカで迎えたいと考えたからです。
- * 7月は東部(アーカンソー、ワシントン DC、ボルチモア、ニューヨークほか)、8月は西部(サンタフェ、ラスベガス、サンフランシスコ、シアトルなど)数千キロを、ほぼ車で旅しながら上映します。
7月16日 (人類史上初となる原爆実験成功の「トリニティの日」) アメリカン大学
8月6日 (広島原爆) ローレンスリバモワの集会でスピーチ
8月9日 (長崎原爆) オークランドで上映
- * アメリカ国民の健康と命と引き換えに手に入れた核兵器は、一体誰のためのものなのか？
- * 事実を知った上で、改めて核兵器について考えてほしいのです。

5月お茶会「311子ども甲状腺がん裁判の報告会に参加して」

ボランティア 西田 照子

想像してみてください。もし、あなたの大切な人が、子どもが、孫が、突然「甲状腺がんです」と告知され、それが人生のスタートを切る前の若い時期だとしたら？ そしてその原因と思われる原発事故を起こした会社が、「自分たちの起こした事故が原因ではない」と主張し、一切の責任も認めず、謝罪もしないとしたら？ これが端的に言えばこの「311子ども甲状腺がん裁判」の本質です。この不条理と闘うために、7人の若い原告がバッシングにも、差別にも負けずに裁判に挑んでいます。いわば、この裁判は原発事故の最も深刻な被害を表すものだと感じています。

皆様にぜひお伝えしなくてはと思い、5月のお茶会で、上記のタイトルで報告をしました。この稿はそのまとめです。

このところ4回ほど続けてこの裁判の傍聴に通っています。傍聴と言っても希望者が多く抽選があり、それに当たらないため、報告会に出ているのですが(6月12日の公判は幸い当選し、傍聴できました)。報告会では弁護士の方たちが裁判の争点をわかりやすく説明してくださるので、裁判の推移をよく理解できます。

【裁判の概要と目的】

この裁判は福島原発事故で放出された放射能の被ばくにより、小児甲状腺がんを発症し、極めて甚大な被害を被ったとして、原告7人(のちに1人が離脱)が、2022年1月27日に被告(東電)にその賠償を求めた裁判です。その目的は原発事故と病気(甲状腺がん)との因果関係を立証し、補償を求め、さらには、すべての患者が救済される新たな制度を創出することです。

【原告の陳述】(7人の内2人を取り上げます)

- * 原告2さんの陳述・・・原発事故は中学卒業式の時で、その後の県民健康調査で甲状腺がんと判明。その時、「手術しないと23歳までしか生きられない」と言われたことがショックで今でも忘れられない。大学は第一志望の東京の大学ではなく、近県の大学に入学したが、甲状腺がん再発のため、その大学にも長くは通えなかった。アイソトープ治療も受けたが、治療効果が出なかった。将来の仕事につなげようとしていた勉強も、全部諦めてしまった。もとの身体に戻りたい。
- * 原告6さんの陳述・・・幼稚園の年長の時に、原発事故が起こった。中学2年の時、県民健康調査で甲状腺がんと分かる。高校2年で再発。17歳で2度目の手術。現在(2022年現在)高校3年生。原発事故以来小さなアパートで11年間避難生活を続けている。経済的に安定した公務員になりたい。恋愛も結婚も出産も自分には縁のないものと考えている。18歳になって医療保険に入れなくなったら治療費はどうなるのか？特に金銭面での不安が大きい。この裁判で将来私が安心して生活できる補償を認めてほしい。

【裁判の争点】

甲状腺がん発症の原因を原告側は原発事故による被曝としている。これに対し、被告側(東電)は原発事故が原因ではないとしている。それぞれの論拠は。

(原告):小児甲状腺がんは通常100万人に1~2人しか発症しないがんである。ところが福島県では、事故後38万人の18歳以下の福島県内の子どもから少なくとも293名の甲状腺がんが発症した(現在

370名－筆者注)。事故後400倍もの増加である。小児甲状腺がんの第一の原因は被ばくである。よって原発事故が甲状腺がんの原因と考えられる。

(被告):① 100ミリシーベルト以下では甲状腺がんは発症しない。

② 原告たちはそれほどの被曝をしていない。(チェルノブイリ事故と比べて福島原発事故では放射線の放出量はその 14 分の1と主張)

③ 小児甲状腺がん多発の原因は過剰診断、過剰診療である(福島県の県民健康調査の結論を引用)。検査により、通常見つけなくてもよいがんを見つけてしまったと主張。検査の縮小を主張している。

(原告反論)

① に対し:ウクライナのトロンコ教授の調査では、甲状腺がんを発症した子供の半数以上が50ミリシーベルト以下で発症していた。(資料A参照)

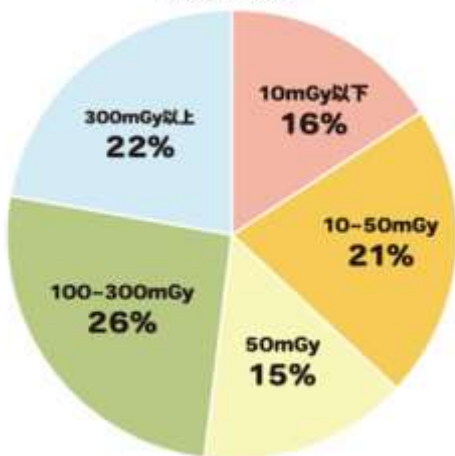
ゆえに100ミリシーベルト以下では発症しないという被告の言う「閾値」はない。

ICRPもLNTモデル(100mSv以下でも、被ばく線量とその影響は直線的比例関係が成り立つ)を認めている。

② に対し:原告は、事故直後の小学校の土壌の実測値(ヨウ素131)が高かったことをあげ、放射線の放出が多かったことを推定値でなく、実測値として主張。(資料B参照)

資料A: トロンコ教授の円グラフ

被ばく線量ごとの小児甲状腺がん発症数 (1986-1997)



※ウクライナ内分譲代議研究所のトロンコ所長ら、1999年に発表した論文より作成/https://x.gd/4kmcv

資料B: 小学校校庭のヨウ素131およびCs137、Cs134

福島県の小学校校庭のヨウ素131およびセシウム134、セシウム137の土壌汚染濃度
土壌採取日 2011年4月5日または6日

西暦 番号	地名	名称	土壌汚染濃度						本県標準による 汚染レベル mSv		合計 (2) mSv	
			[ベクレル/kg]			[1]			屋外	遊戯場		
			I-131	Cs134	Cs-137	I-131	Cs-134	Cs-137				
1	郡山11	福島中央第一小学校	8,190	2,950	3,600	533,000	192,000	234,000	9.30	0.25	0.62	6.20
2	郡山12	福島市立大久保小学校	5,950	3,520	4,100	386,000	229,000	267,000	10.80	6.50	0.53	7.03
3	郡山13	二本柳市立第二小学校	6,120	5,300	5,730	404,000	345,000	437,000	16.70	10.00	0.66	10.7
4	郡山14	伊達市立飯沼小学校	5,650	3,890	4,390	267,000	253,000	285,000	11.83	7.10	0.53	7.63
5	郡山15	郡山市立山本園小学校	29,800	13,500	16,100	1,950,000	845,000	1,030,000	41.50	24.60	2.40	27.0
6	郡山1	郡山市立東通小学校	3,100	2,650	3,110	201,000	172,000	202,000	8.13	4.98	0.52	5.20
7	郡山2	郡山市立東通小学校	1,700	1,200	1,490	111,000	78,100	96,600	3.76	2.26	0.16	2.42
8	郡山3	郡山市立第二小学校	1,240	2,290	2,750	86,300	149,000	178,000	7.04	4.23	0.20	4.43
9	郡山4	郡山市立第一小学校	1,570	777	898	102,000	50,500	58,400	2.39	1.43	0.13	1.56
10	郡山5	平田市立東通小学校	597	741	947	38,800	48,200	61,600	2.34	1.40	0.08	1.48
11	郡山6	白河市立山本園小学校	717	358	401	46,600	23,300	26,100	1.09	0.65	0.06	0.71
12	郡山7	会津若松市立東通小学校	497	445	535	32,300	28,900	34,800	1.38	0.83	0.05	0.88
13	郡山8	喜多方市立第一小学校	259	264	351	16,800	17,200	22,800	0.85	0.51	0.03	0.54
14	郡山9	会津若松市立東通小学校	nd	nd	nd	nd	nd	nd	nd	nd	nd	nd
15	郡山10	会津若松市立東通第一小学校	2,620	2,050	2,260	389,000	134,000	147,000	6.18	3.71	0.27	3.98
16	郡山11	郡山市立中村第一小学校	1,590	1,270	1,260	103,000	82,800	81,800	3.70	2.32	0.16	2.38
17	郡山12	郡山市立東通小学校	20,400	8,510	10,000	1,330,000	553,000	653,000	26.40	15.90	1.60	17.5
18	いわき1	いわき市立第一小学校	4,850	451	462	315,000	29,300	30,000	1.43	0.86	0.28	1.14
19	いわき2	いわき市立東通第一小学校	1,260	272	287	81,500	17,700	18,700	0.83	0.50	0.08	0.58
20	いわき3	いわき市立東通小学校	6,180	637	770	402,000	41,400	50,100	2.11	1.27	0.37	1.63

ヨウ素131 185万-555万ベクレル/m²
Cs137 37万-185万ベクレル/m²
Cs134 18.5万-37万ベクレル/m²

甲全34号証

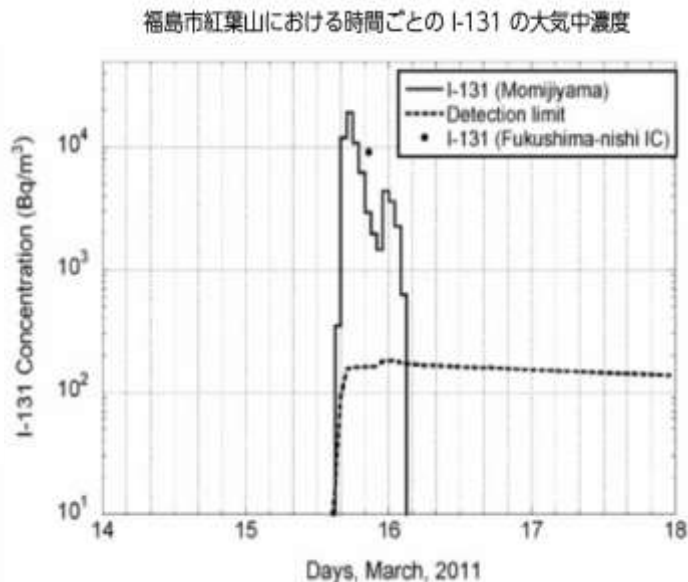
小学校校庭の土壌汚染 ピンク色のマーカー部分のヨウ素131の濃度はベラルーシのゴメリに匹敵する濃度であり、黄色のマーカー部分はヨウ素131の濃度がベラルーシのモギリョフに匹敵する。(赤丸印をつけている部分)

さらに②に対し:原告側は「患者たちは相当の被曝をしている」を証拠づけるものとして、福島市の「紅葉山公園のモニタリングポストが実測データを記録していたこと」をあげている。これをもとに平山英夫氏が大気中のヨウ素濃度を推定。これによれば、2011年3月15日から16日にかけて福島市を襲った放射性プ

ルームは65,700Bq/m³であった。これをもとに、黒川眞一高エネルギー加速器研究機構名誉教授が出した「一歳児の甲状腺被ばく線量は59.92mSv」であった。これは東電の主張の約6倍である。(資料C参照)

資料C: 紅葉山公園のモニタリングポストのヨウ素 131

福島市紅葉山公園のモニタリングポストに時系列で残されていたデータをもとに、平山英夫氏が大気中のヨウ素濃度を推定したもの



③ に対し手術に当たった鈴木眞一医師は「過剰診断、治療ではない」と言明。少なくとも原告には、手術をしなければ命の危険があった者や、肺への転移がある者などがおり、過剰診断ではなかった。

【結論】

事故前と事故後で小児甲状腺がんの発症率が400倍にもなっている事実から、甲状腺がんと原発事故の因果関係は明白である。過剰診断論では到底説明がつかない。東電は、若者の人生をも奪うがんの罹患に対し、真摯に認め謝罪し補償すべきである。また、福島県の県民健康調査会が、「がんの検出は過剰診断による」としているのも納得できない。裁判の公正な判決を心から望みたい。

報告会に参加して、原告の勇気、弁護団の熱意、そして支援者たちの温かい応援の気持ちに、原告たちが日に日に逞しくなっていくのを実感した。水俣病にも匹敵する公害事件をなぜメディアは広く伝えないのか？ 一人でも多くの方に傍聴に行っていただき、この「甲状腺がん裁判」を応援してほしいと願っている。さらに、東電や県、国は原発事故を小さく見せるためか、放射能の危険性を広報しなかった。ハカルワカル広場は放射能の危険性をもっと広報していくべきだと感じた。

- * ここでの資料はすべて「311子ども甲状腺がん裁判支援ネットワーク」の許可を得て使用しています。詳細をご希望の方はハカルワカル広場(hachisoku@gmail.com)へ 件名『5月お茶会の資料請求』としてメールを送って下さい。
- * ハカルワカル広場では、原告の生活支援カンパをお願いしています。最後のページに銀行振込口座があります。また、過去3回それぞれの原告に6万円ずつの支援をしています。これからも続けます。
- * ハカルワカル広場 HP「311 子ども甲状腺がん裁判の原告からお礼が届きました！」のページに原告からのお礼の言葉を載せています。

お礼のページのQRコード



キム・イナさんの博士論文発表会

キム・イナさんから、素晴らしいニュースが飛び込みました！ 研究されていた文化人類学の「不自然な環境：福島原発事故後のデータ・政治・生態学的な想像力」の博士論文が完成したので、その発表授業にご参加くださいとのご招待でした。事務局の数人で聴講しました。（英語での発表でしたが特別に日本人に向けて最初の15分を日本語で発表してくださいました。）

一昨年、キム・イナさんはハカルワカル広場にボランティアとして参加されていました。キムさんはカリフォルニア大学アーバイン校大学院の博士課程で文化人類学を専攻され、その研究テーマが「日本の市民測定所」でした。1年間の日本への留学の間、ハカルワカル広場や、いわき放射能市民測定室たちねなどの市民測定所20か所で研修され、この度その博士論文が完成し、その発表をされるとのことでした。

私たちの市民測定室が研究対象になるなど考えもしなかったことでしたが、博士論文にまとめられました。その一節に、「『不検出の政治学』を通して、市民が技術的制約、科学的知識の信頼性、そして国家と原子カムラに対する政治的および倫理的抵抗をしている様子を明らかにしている。」とあり、内容を解説していただくのが楽しみです。ハカルワカル広場で出版した絵本の「放射能ってなんだろう？」と「旅するラディオ」における分析も含めています。9月7日のハカルワカル広場のお茶会で発表していただきます。どうぞご期待ください。アメリカから Zoom での発表となります。これこそ、Zoom の出番ですね。（編集部）

9月7日(土)お茶会 キム・イナさんの博士論文発表会

9月7日(土) 10:00~12:00 測定室、または Zoom にて参加できます。

タイトル: 「不自然な環境:福島原発事故後のデータ・政治・生態学的な想像力」

4月お茶会「12年目の土壌測定プロジェクトについて」 測定ボランティア 佐々木晃介

4月のお茶会では、12年目の土壌測定プロジェクト報告書の説明がありました。この企画は、2022年10月の「次の10年の放射能測定プロジェクトモニター募集」に伴い、11年目の測定プロジェクトに続いて、これからの10年を見据えて土壌を測定し、またこれまでに測定した土壌が現在どのような汚染状況であるかを計算で割り出し、私たちが原発事故以降、どのような核の環境の中に暮らしているかを把握しようとするものです。それには皆様からの土壌の検体の提供が必要です。どうぞご協力いただきますよう、お願いいたします。

「どのような核の環境の中に暮らしているか」を表すには、過去の測定データの見える化が必要です。そして放射能減衰計算を利用し、現在の残留放射能値を得る必要があります。

現在の残留放射能値 = 過去の放射能測定値 - 放射能減衰値

12年間の土壌測定件数は、659件でした。これを13分類して、現在の残留放射能値を計算し、身近なところに放射能がどれだけ残っているかの見える化をしました。これにより土壌にどれだけ放射能が残っているかが分かりました。

土壌以外の灰、炭、掃除機のゴミ、きのこ、ゼオライトの測定値、そして「知っておきたい放射能のこと！」も報告書に掲載しました。報告書の最後にある「放射能はどんなに少なくても危険だから、できるだけ避けた方が良い。」について、残留放射能の報告ができました。





2024年度総会報告

ハカルワカル広場代表 西田照子

2024年6月1日、ハカルワカル広場の2024年度総会を実施し、無事終了しました。政府が昨年、GX法を成立させ、原発回帰へ舵を切った現在、私たちのような市民レベルの「原発反対」の運動はより重要性を増すのではないかと考えています。総会のありかたについては、私たちハカルワカル広場の総会は定足数も決めず、それゆえ委任状も取らないのですが、委任状をとることにエネルギーをかけるより、原発反対の運動にそのエネルギーを注ごうとの考えでやってきました。形式にとらわれず、簡潔、シンプルにやっていければと思っています。

また、総会は、皆様からお預かりした会費や寄付をどのように使ったかの報告をすることが大切だと思っています。

2024年度総会の報告

2023年度の活動報告、決算報告、また2024年度の活動方針案と予算案を事務局から提案し、それぞれ質疑応答もなされた上で、出席者全員の承認を得ました。

質疑応答での主な質問と意見

- Q: 映画会の駐車場料金はどこに分類されるのか？
A(会計): 映画会の駐車場料金は特別事業費からの支出となっている。
- Q: いつもの駐車場代はどこから出ているか？
A(会計): 駐車場代としては支払わず、交通費として支払っている。
- 意見: 八教組はこの4月に多摩教組に合流するために、財産の一部を寄付した。有意義に使ってほしい。
(事務局): 八教組から寄付をいただいた。組合の方々の厚いご支援と思うと本当にありがたいです。開設の時も大きな寄付をいただいたが、存続のために大切に使用させていただきます。
- 意見: ボランティアも減少しているので、活動の方針を考えた方が良いのでは？
意見: 事務局の方の負担が重いので(開室の)回数を減らすなどを考えてはどうか？
- Q: この測定室の場所はいつまで確保できるのか？ゼオライトを再開したいがどうすればよいか？
A(事務局): 診療所が閉じた時、他を探してくれと言われたが、今は作業所が1階に入居しているので、期限は明確ではないが、当分居続けてよいということになっている。ゼオライトは、古いものはやめて、新しいセットを作った方が良いでしょう。

おわりに

今年元旦の能登の大地震は地震列島日本に原発は危険すぎるとの最後の警告だったのではないのでしょうか？このことを胸に刻み、これからも共に原発のない、核兵器のない社会を目指して運動していきましょう。2024年度も「次の10年の放射能測定プロジェクト」参加者を募集中です。ぜひ、次の10年の放射能測定にご協力ください！地道な活動を通して汚染実態を知り(知らせ)、原発反対運動の力としましょう！

また、今年度の活動方針として、「311子ども甲状腺がん裁判」の応援に特に力を入れたいと思います。子どもや若者の健康を損なうことは原発事故が引き起こした最大の被害ともいえ、相応の補償とその補償のシステムが作られなくてはなりません。

最後になりましたが、大きなご寄付を寄せてくださった八王子教職員組合と、ハカルワカル広場の場所を貸してくださっている山田真医師に心より感謝いたします。

二宮志郎の連載コラム

悲しみのLCA(3)

悲しみの偏在

それにしても、こんなことを考えること自体がまるっきし無駄ではないか、そう思ってしまいそうになります。イスラエルとパレスチナをめぐるダブルスタンダード、あれがまかり通る世界では、いかに悲しむことになる人たちを少なくしようと考えても、悲しみを測る物差しが100倍、1000倍と違うのです。罪のない子ども達が次々に命を失くすという状況を見ても、狂った物差しを正せない、国連が動いても無力。そういう世界で原発をめぐる理不尽を正すということは到底無理な気がしてきます。

一方で、ダブルスタンダードに抗議している人たちも世界にはたくさんいます。怒りを感じて行動する人たちがあんなにもいるわけですから、理不尽を正して行くことを諦めてはいけません。

文献調査

放射性廃棄物の最終処分に関して「文献調査」受け入れを巡って町が揺れているというニュースを時々耳にします。その度に大勢の人たちが悲しむ姿が目に見えます。「なぜに」、疑問が山のようにうずまきます。資源エネルギー庁のホームページを見ると「対話」が強調されて何やら民主的手続きの様な響きのいい言葉が並んでいます。

ここには、「作ってしまったものをどこかが受け入れて処理しなければならない」といった問題である前に、「もう作るのはやめるか、これからも続けて作るのか」というより重要な問題があるはずですが、後者の選択肢がどこでどう合意形成があったのか、もう決まっているようです。処分の受け入れは、その勝手に決められてしまった方針に合理性を与えるのに利用されそうです。

「廃棄物処理に関しても目処がついたからどんどん行こう」としたい目論見が透けて見えます。「文献調査」と聞くと、なにやらささいな調査であるような気がします。しかし、ささいな調査ですら、巨額を動かし、町を分断します。「核」が関連するところ、ささいなことから重大なことまで、この悲しみがつきまとい、そして必ずと言っていいほど大きく偏在します。

悲しみを測る

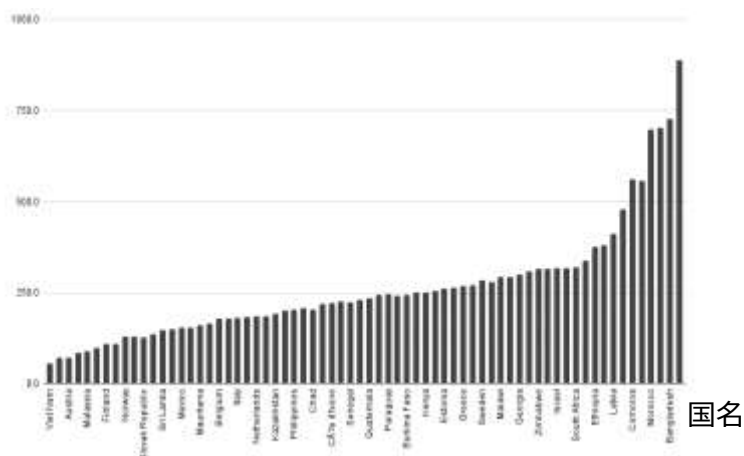
「そんなことは無理」と言う声が聞こえる気がします。実際、かなり無理に近いでしょう。しかしやる気がないということもおおいにあり、そういう調査結果をあまり見ません。

いろいろ探してみたところ、WHOはWHS(世界健康調査)を2003年に行っており、そのデータが公開されています。様々な質問による広範な調査をたくさんの国で行っています。その中の一つの質問に「過去30日間において、悲しかったり、落ち込んだりということでのどのくらいの問題を抱えましたか」というのがあります。正確な質問の英文は、

”Overall in the last 30 days, how much of a problem did you have with feeling sad, low or depressed?”

ということになります。回答形式は「ほとんどない」から「とても激しい」の5段階 (None, Mild, Moderate, Severe, Extreme)の5つから一つを選択するという形式です。

「そんな単純化された質問で何がわかる?」というのがありますが、結果を見ます。私が適当に重み付けした数値でグラフ化してみると以下のようにになりました。



右の方の数値が大きい国が「より悲しい」となります。残念ながら、この結果を見ても大したことはわかりません。国単位というのでは範囲が広すぎて偏在が見えていません。「もしパレスチナで調査をしたら?」と私個人の想像で数値を入れてみたら、一番右の5倍位の高さのグラフになりました。

こういう調査でも、こまめに実施すればいろいろわかると思うのですが、大きな組織でないと実施は難しいことでしょう。

注) LCAとは?: ライフ・サイクル・アセスメントの略。原発の場合、建設から解体、核燃料の採掘から廃棄処理までの全期間に渡り、様々な要因を対象として総合的に評価すること。

Atomtex AT1320A 測定結果(2024年3月～2024年6月現在)

ゼオライトの Cs134 初期値引き算前(Cs134 初期値は 30Bq/kg 程度) 不検出は記載していません。

検体	採取日	県名	採取地	検体重量 (g)	充填容量 (cc)	Cs137 Bq/kg	95%範囲 ±Bq/kg	Cs134 Bq/kg	95%範囲 ±Bq/kg	備考
側溝内の土	2024.5.25	東京都	八王子市絹ヶ丘	1217	1000	530.0	106.0	32.0	7.3	土壌モニター
土	2024.4.17	東京都	八王子市寺田町	756	1000	212.0	42.0	15.0	4.1	土壌モニター
ゼオライト	2024.3.1	神奈川県	相模原市	837	1000	164.0	33.0	43.9	10.0	ゼオライト
公園の土	2024.4.20	東京都	八王子市本郷町	998	1000	147.0	29.0	19.8	5.1	土壌モニター
庭の土	2024.4.20	東京都	八王子市八幡町	1025	1000	146.0	29.0	13.8	4.0	土壌モニター
公園の土	2024.4.2	東京都	八王子市館町	1024	1000	104.0	21.0	12.4	3.7	土壌モニター
腐葉土(里山)	2024.3.19	東京都	八王子市中山	857	1000	58.2	12.5	4.4	以下	土壌モニター
土	2024.5	東京都	八王子市散田町	948	1000	43.5	9.7	4.0	以下	土壌モニター
土	2024.3.5	東京都	八王子市みなみ野	1316	1000	42.3	9.0	2.9	以下	土壌モニター
土	2024.3.7	東京都	町田市	956	1000	42.0	9.3	4.0	以下	土壌モニター
苔付きの土	2024.4.2	東京都	八王子市北野台	880	1000	38.2	8.8	12.6	4.0	土壌モニター
ゼオライト	2024.4.10	東京都	八王子市長房町	968	1000	35.6	8.7	37.1	8.4	ゼオライト
土	2024.5	東京都	八王子市散田町	979	1000	31.1	7.3	11.3	3.6	土壌モニター
土	2024.6.19	東京都	八王子市栢田町	1152	1800	21.8	5.5	12.7	3.6	
土	2024.5.10	東京都	あきる野市	1312	1000	12.7	4.0	17.1	4.3	
駐車場の土	2024.4.4	東京都	八王子市みなみ野	903	1000	11.9	3.7	15.7	4.0	土壌モニター
ゼオライト	2024.4.10	東京都	八王子市寺町	996	1000	10.3	4.8	35.5	8.1	ゼオライト

測定室からのお願い 測定検体の容量は、0.5 リットルまたは 1 リットルです。多めにお持ちください！

EMF211 測定結果(2024年3月～2024年6月現在)

不検出は記載していません。

検体	採取日	県名	採取地	検体重量 (g)	充填容量 (cc)	Cs137 Bq/kg	95%範囲 ±Bq/kg	Cs134 Bq/kg	95%範囲 ±Bq/kg	備考
粉炭	2024.3	群馬県	利根郡	507.8	1000	62.24	0.74	0.82	以下	12時間測定
樹木灰	2023.11	東京都	町田市	452.3	1000	41.47	3.21	3.93	以下	30分測定
干しシイタケ	2024.3.27	秋田県	秋田産	52.0	500	19.02	11.51	13.41	以下	2時間測定
乾燥ドクダミ	2024.5	東京都	八王子市片倉町	132.4	1000	17.39	4.21	7.41	以下	4時間測定
掃除機ごみ	2024.4	東京都	八王子市日吉町	209.5	1000	17.19	1.39	2.32	以下	8時間測定
筍の皮	2024.4.6	栃木県	栃木県産	346.8	1000	5.80	1.05	1.82	以下	4時間測定
あんぼ柿	2024.3	福島県	伊達市	485.4	500	3.90	0.82	1.82	0.96	2時間測定
筍可食部生	2024.4.11	東京都	八王子市中山	581.0	1000	3.10	0.85	1.48	以下	2時間測定
あんぼ柿	2024.1.26	福島県	福島県伊達市	479.4	500	2.88	0.59	1.05	以下	4時間測定
あんぼ柿	2024.1	福島県	伊達市	367.2	500	2.29	1.03	1.89	以下	2時間測定
筍皮、根	2024.4.10	東京都	八王子市中山	436.0	1000	2.17	1.13	2.04	以下	2時間測定
蕨	2024.6.23	宮城県	気仙沼近辺	398.5	1000	2.08	1.22	0.2	以下	2時間測定
あんぼ柿	2024.1.26	福島県	福島県伊達市	360.2	500	1.68	0.76	2.38	0.94	4時間測定



あなたの家のまわりは大丈夫？
測って確かめませんか？



次の10年の放射能測定プロジェクト

モニターを募集中です！



測定室からのご報告とお知らせ

- * 4月6日(土) お茶会:映画会の感想、反省会と土壌測定プロジェクトのまとめについて(報告:佐々木)
まず、「12年目の土壌測定プロジェクトのまとめ」についての報告と解説がありました。12年経っても、依然として、2011年3月11日の福島原発事故の放射能の降下による汚染は続いていることがデータにより明らかです。身の回りの土壌を測定し、汚染状況の事実を確認していきましょう。
また、3月3日の「サイレント・フォールアウト」について感想を述べあったり、反省点を話し合いました。アメリカの核実験により自国の国土も人々も汚染され被曝していることを、アメリカ人に知らせるための映画だったことを再確認しました。詳しくは巻頭の記事をご覧ください。 (参加者:オンライン13名、会場11名)
- * 5月11日(土) お茶会:「311子ども甲状腺がん裁判の報告会に参加して」(報告者:西田)
福島原発事故の後、通常なら100万人に1~2名しか発症しない小児甲状腺がんが38万人中370名も発症した。この甲状腺がんに罹患した若者7名が、東電に補償を求めて裁判を起こした。被告の東電は「甲状腺がんの原因は原発事故ではない。がんの多発は過剰診断による」と主張する。それに反論する原告側弁護団の主張を紹介、裁判の争点を明らかにした。詳細はp.5~7参照。 (参加者:オンライン19名、会場9名)
- * 6月1日(土) 2024年度総会(司会:三橋理江子 議長:金山邦子)
2024年度総会を6月1日(土)に開催。事務局メンバーの紹介の後、2023年度活動報告、決算報告、2024年度活動方針、予算を参加者の賛成で承認いただきました。詳細はp.9、また同封の総会報告をご覧ください。 (参加者:オンライン10名、会場12名)
- * 7月6日(土) お茶会:「福島を聴く・見る・測る」(ドキュメンタリー映画45分)を視聴。講師:佐尾和子さん、高崎方子さん、映像担当の小池美稀さんにも貴重なお話をいただいた。今も福島は線量が高いこと。そこに復興と称して、軍事利用につながる技術の研究所、企業が進出していること。チェルノブイリのお話では、チェルノブイリ法を成立させて、放射能の危険性を教育し、子どもを守る姿勢が顕著なことなど福島との違いが浮き彫りになる講演でした。 (参加者:オンライン15名、会場11名)

【お知らせ】 <https://hachisoku.org/blog/?p=12553>

このたびホームページトップに「特集 甲状腺被ばく/甲状腺がん」のページを作り「311子ども甲状腺がん裁判」の争点を明らかにしました。5月11日のお茶会「311子ども甲状腺がん裁判の報告会に参加して」は、甲状腺被ばく/甲状腺がんの実態を明らかにする企画です。

会員が減って困っています。
お知り合いをご紹介ください!

次の10年の放射能測定プロジェクトの参加者を募集しています。

詳しくは右のQRコードを読み取ってください。原発事故以来、放射能汚染状態は続いていますので、定期的に放射能測定を続けることが大切です。ご協力をお願いします!



「311 子ども甲状腺がん裁判」原告支援カンパ ご支援をお願いします!

カンパの振込先:三菱UFJ銀行 四谷支店 口座番号:0549130

口座名義:311 甲状腺がん子ども支援ネットワーク 左のQRコードより詳細をご覧ください。

今後の予定

- * 8月はお茶会はありません。夏季休室は8月6日(火)~8月19日(月)までです。ご了承ください。
- * 9月7日(土)・・・「キム・イナさんの博士論文発表会」
講師:キム・イナさん、詳細はp.8参照
- * 10月5日(土)お茶会・・・未定

ハカルワカル広場は維持会員の会費とボランティアで運営されています。

八王子市民放射能測定室
ハカルワカル広場

〒192-0053 東京都八王子市八幡町 5-11 八中ビル 2F
お電話 問合せ 042-686-0820

HP: <https://hachisoku.org> メール: hachisoku@gmail.com
【開 室】 火曜日~土曜日:10時~12時

ボランティア、維持会員募集中!
お問い合わせはハカルワカル広場まで

寄付も大歓迎です! ゆうちょ銀行 00100-8-299904 (八王子市民放射能測定室)
他行からの振込は 018-0224460 (八王子市民放射能測定室)